

# 4 右軸偏位

第2章3節で右軸偏位とは、心電図の第I誘導でQRS波が陰性であり、第II誘導で陽性を示すものであることを述べた。

## 右軸偏位をきたす疾患(90 ~ 180°)

- ①右室肥大・拡大：僧帽弁狭窄，肺動脈狭窄，原発性肺高血圧，Eisenmenger症候群，Fallot四徴症など
- ②左脚後枝ブロック：立位心・右室肥大を除外でき，かつQRS軸120°以上
- ③右胸心
- ④肺性心
- ⑤前側壁梗塞
- ⑥WPW症候群(A型)
- ⑦立位心：やせ型，滴状心
- ⑧左右上肢電極のつけ間違い
- ⑨正常(病的意義なし)

以下に右軸偏位の心電図を示す(図2.4.1・図2.4.2・図2.4.3・図2.4.4)。

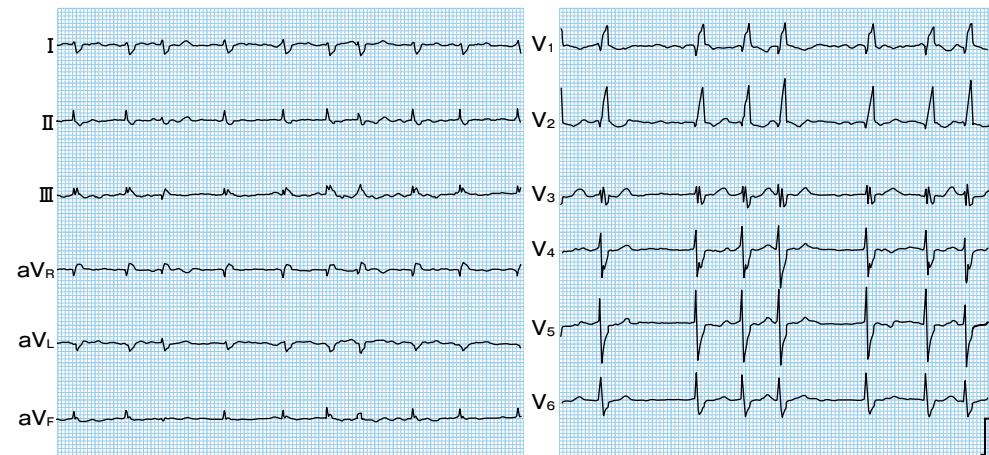


図2.4.1 右軸偏位の心電図①  
79歳，女性。慢性心不全，重症三尖弁閉鎖不全，僧帽弁閉鎖不全，心房細動，高血圧，糖尿病。QRS波は第I誘導でR<S，第II誘導ではR>Sであり，右軸偏位を呈している。さらに心房細動，右脚ブロックを呈している。

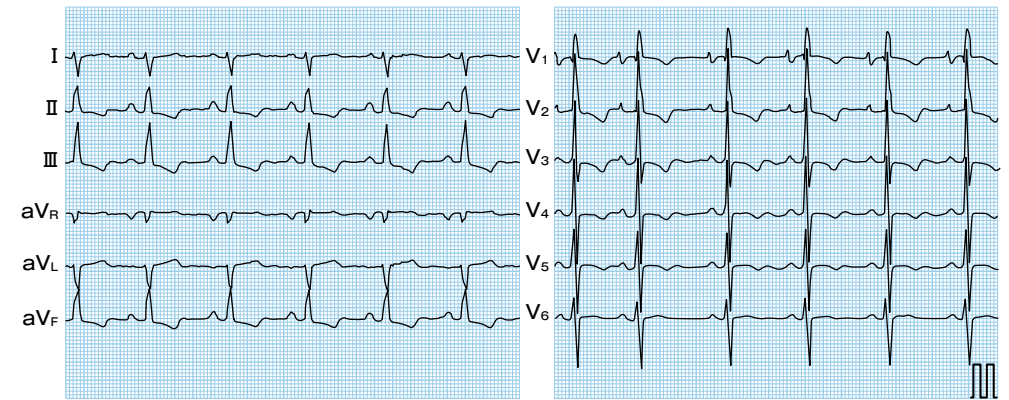


図2.4.2 右軸偏位の心電図②  
77歳，女性。慢性肺塞栓症による肺高血圧。QRS波は第I誘導で陰性，第II誘導で陽性であり，右軸偏位，また完全右脚ブロックを呈している。

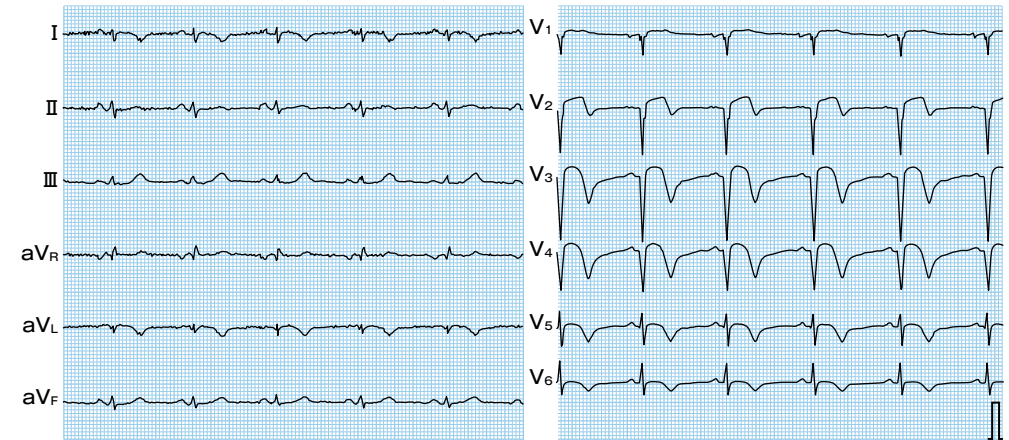


図2.4.3 右軸偏位の心電図③  
44歳，男性。左冠動脈前下行枝#6の心筋梗塞。I誘導でQRSはR<S，II誘導ではR>Sであり右軸偏位を呈している。I・aVL・V2-V6にわたってinvertedTwaveを認めており前側壁が広範に虚血にさらされている。

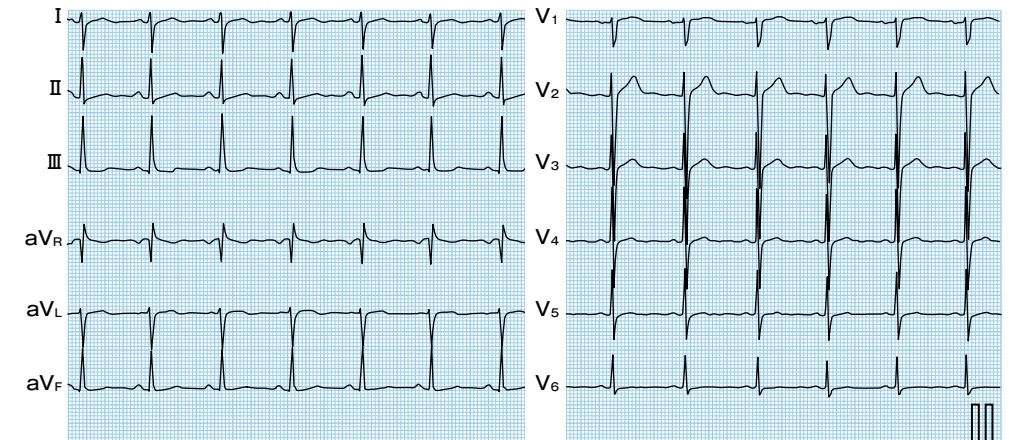


図2.4.4 右軸偏位の心電図④  
24歳，男性。精巣腫瘍。心臓超音波で特記すべき所見なし。QRS波は第I誘導でR<S，第II誘導ではR>Sであり，右軸偏位を呈している。QRS幅<120ms，90°<QRS軸<180°，ⅢのR>ⅡのR，ⅢおよびaVFにおいて，qRパターンでQ波幅≤40ms，右軸偏位をきたす。他の疾患が存在しない。上記より，左脚後枝ブロックの診断となる。左脚前枝ブロックのみの場合は，その他のブロックを伴わないかぎり治療の必要はない。

(湯澤ひとみ)